

2024 年 4 月 26 日

報道関係各位

アートアワードトーキョー丸の内 2024 実行委員会
三菱地所株式会社

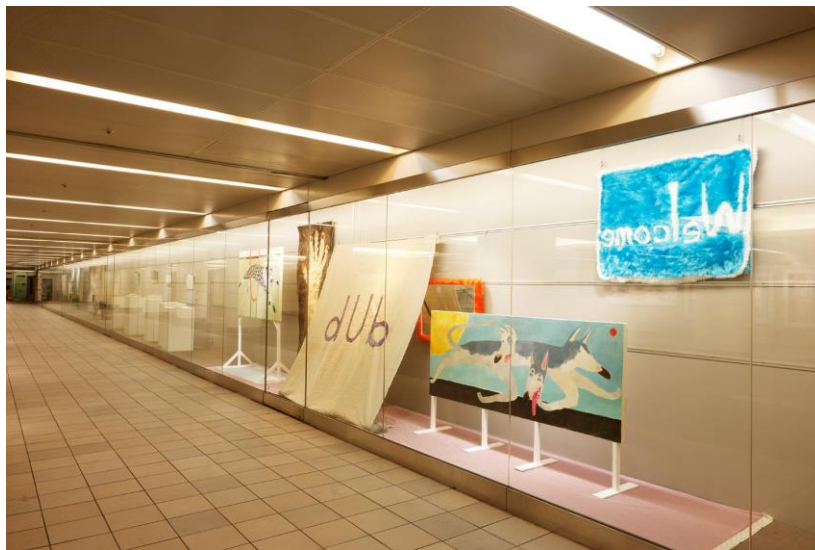
～全国の美大・芸大の傑作品が丸の内に集う～
アート アワード トーキョー マルノウチ
『ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2024』がスタート
グランプリ、審査員賞など決定

開催期間：2024 年 4 月 25 日（木）～5 月 12 日（日）

開催場所：行幸地下ギャラリー

行幸地下ギャラリーを中心に、若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術の展覧会「ART
アワード トーキョー マルノウチ
AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2024」(以下、AATM) が 4 月 25 日（木）にスタートいたしました。

18 回目の開催を迎えた AATM は、全国 18 校からノミネートされた 147 点の作品より、厳選した 20 作品の展示を実施。初日の 4 月 25 日（木）には、20 作品の中からグランプリや審査員賞、三菱地所賞など各賞を発表し、表彰式を丸ビル 1F マルキューブで行いました。



アートアワードトーキョー丸の内 2024 展示風景



各受賞者含め参加した 20 名の学生作家

グランプリには高田マルさん（京都市立芸術大学 大学院）が受賞し、中島篤 三菱地所株式会社 執行役社長より表彰状と副賞として行幸地下ギャラリーでの展示の機会に加え、賞金が贈呈されました。



グランプリを受賞した高田マルさん



アートアワードトーキョー丸の内 2024 グランプリ受賞作品
高田マル「こわれながらうまれる（間違った言葉）」

受賞した高田さんは、「以前によく丸の内に来ていたことがあり、行幸地下ギャラリーも何度も通っていたので、今回のプランを立てる時点から、自分ならどういうものが見たいだろうと考えて作りました。初めは家の中でコツコツと作業していたものを皆さんに見ていただく機会をいただき、一連の時の流れを共有しているような気がします」と受賞の喜びをコメントしました。

また、審査員の藪前知子氏（東京都現代美術館 学芸員）は、「高田さんの作品は、日記を書いているような手書き文字で、彼女の心の動きそのものを表していると思います。文字と絵画の間にあるようなパーソナルな線が、絵画というものの存在や、なぜ絵画を描くのかという思考にも結びつき、絵画に対しての興味、探究の広さを含め今回のグランプリにふさわしいと選出しました」と評しました。

各賞の受賞者は下記の通りです。

賞名	受賞者
グランプリ	高田マル（京都市立芸術大学 大学院）
審査員 今村有策 賞	李 晟 睿智（東京藝術大学 大学院）
審査員 木村絵理子 賞	趙 彤陽（京都芸術大学 大学院）
審査員 後藤繁雄 賞	高尾岳央（京都芸術大学 大学院）
審査員 小山登美夫 賞	和田咲良（東京造形大学）
審査員 建畠哲 賞	奥野智萌（東京藝術大学 大学院）
審査員 藪前知子 賞	和田咲良（東京造形大学）
フランス大使館賞	山口遼太郎（京都市立芸術大学 大学院）
OCA TOKYO 賞	本岡景太（東京藝術大学 大学院）
三菱地所賞	朝井彩華（女子美術大学）

表彰された作品あわせて 20 名の作家の作品は、5 月 12 日（日）まで行幸地下ギャラリーに展示されています。

参加作家の作品など詳細は下記よりご覧いただけます。ぜひお立ち寄りください。

<https://www.marunouchi.com/pickup/event/2605/>

また、スマートフォンアプリ「PINTOR（ピントル）」と連動し、展示作品の解説を読むことや作品に対しての質問を投稿するとアーティストから回答をもらうことができ、より“深い”アート鑑賞を行えます。
（※一部参加作家を除く）。さらに、来場者同士で展示会の感想をシェアするなど、アプリを通して新しい楽しみ方ができるようになりました。

■ PINTOR とは

「PINTOR（ピントル）」は現在開催されているアートイベントを見つけることができるスマートフォンアプリです。また、イベントだけではなく、10万件以上の作品、8000人以上の画家から芸術様式や色合い、別のユーザーのコレクションなどから、自分にとって最高の作品を見つけることができます。作品の解説や画家のプロフィールなどを見て、レビューやコレクションをしてアートの記録を取って楽しむこともできます。



「AATM2024」では、二次元コードを読み取ること
で簡単に作品のことを知ることができるほか、作品に対して抱いた疑問を投稿することで、アーティストから回答をもらうことができます（※一部参加作家を除く）。さらに、レビューを書くことはもちろん、他の来場者の感想も知ることができます。

公式ホームページ：<https://company.pintor.jp/>

丸の内は今後も、文化・芸術の発信地としてアートとの出会いの場を創り出し、若いアーティスト達の可能性を広げていきます。次世代を担うアーティスト達の清々しく斬新な感性が一堂に会する丸の内で、ぜひお楽しみください。

■ 「ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2024」開催概要

【概要】

若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術の展覧会。行幸地下ギャラリーで作品展示を行い、審査会による選考の上受賞者を決定し、丸ビル1F マルキューブで表彰します。

＜開催日程＞2024 年 4 月 25 日（木）～5 月 12 日（日）11:00～20:00

※最終日のみ 18:00 まで。

※観覧可能時間は変更になる場合がございます。

＜展示会場＞行幸地下ギャラリー

＜入場＞無料

＜主催＞アートアワードトーキョー丸の内 2024 実行委員会

＜特別協賛＞三菱地所株式会社

＜協賛＞株式会社大和証券グループ本社／能美防災株式会社／丸の内熱供給株式会社／YKK AP 株式会社

＜後援＞三菱一号館美術館／在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ東京／OCA TOKYO／

TOKYO MX

＜Web サイト＞

<https://www.marunouchi.com/pickup/event/2605/>

AATM 18th 2024

丸の内を揺るがす、
全国の実入、
巨大の傑作選

ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI
4.25 - 5.12 11:00 - 20:00
会期中無休
入場無料

展示会場：行幸地下ギャラリー

主催：アートアワードトーキョー丸の内 2024 実行委員会
後援：三菱地所、大和証券グループ、能美防災、丸の内熱供給、YKK AP
協賛：三菱一号館美術館、在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ東京、OCA TOKYO、TOKYO MX

【審査員】（五十音順）

今村有策氏（東京藝術大学大学院美術研究科 教授）

木村絵理子氏（弘前れんが倉庫美術館 館長）

後藤繁雄氏（編集者、クリエイティブディレクター、京都芸術大学 教授）

小山登美夫氏（小山登美夫ギャラリー 代表、日本現代美術商協会 副代表理事）

建畠哲氏（埼玉県立近代美術館 館長）

野口玲一氏（三菱一号館美術館 学芸員）

藪前知子氏（東京都現代美術館 学芸員）

<本件に関する報道関係の方のお問合せ先>

AATM2024 広報事務局（平日 10:00～18:00）担当：妹尾・細川・山本

TEL：03-6869-7881 / E-mail：marunouchi-art@ohanapr.co.jp

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内
Re デザイン

三菱地所は、2020 年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ※」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf